

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市河原口計画(B-2)新築工事	階数	地上10F	
建設地	海老名市中央四丁目1361番地11筆	構造	RC造	
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	435 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価	
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年10月15日	
敷地面積	5,245 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション	
建築面積	1,579 m ²	確認日	2024年10月15日	
延床面積	11,129 m ²	確認者	(株)長谷工コーポレーション	

外観パース等

図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.4 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境品質 G 環境負荷 L 1.4 42	標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 76% ③上記+②以外の 76% ④上記+ 76% (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 4.0	Q2のスコア= 3.2	Q3のスコア= 2.7
音環境 3.1	機能性 3.7	生物環境 2.0
温熱環境 4.7	耐用性 3.0	まちなみ 3.0
光・視環境 3.8	対応性 2.8	地域性・ 3.0
空気質環境 3.6		
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 4.0	LR2のスコア= 2.6	LR3のスコア= 3.1
建物外皮の 4.0	水資源 2.2	地球温暖化 3.9
自然エネ 3.0	非再生材料の 2.6	地域環境 2.5
設備システ 4.6	汚染物質 3.3	周辺環境 3.0
効率的 3.0		

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
小田急小田原線海老名駅から徒歩10分の、第二種住居地域に、共同住宅をRC造・地上10階にて計画した。	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・住戸部:カーテン及び底の組み合わせにて昼光制御している。	・劣化対策等級3相当。	0
・F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・外皮性能として住棟単位でUA=0.4 ηAC=1.6とした。	・解体時におけるリサイクルを促進する対策として、躯体+軽鉄又は木軸+仕上げ材のディテールを採用している。	LCCO ₂ 排出率=76%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される